



2020年5月11日

各 位

上場会社名 株式会社 加藤製作所
 代表者 代表取締役社長 加藤 公康
 (コード番号 6390)
 問合せ先責任者 取締役執行役員財務統括部長 小西 二郎
 (TEL 03-3458-1130)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年3月期におきまして、下記のとおり特別損失を計上するとともに、2020年2月13日に公表いたしました2020年3月期通期の連結業績予想について、修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社連結子会社である KATO WORKS (THAILAND) CO., LTD. は、当社グループのグローバル機種の生産拠点として2016年に操業を開始しました。しかし、主要販売先である ASEAN 及び中東地域において、中国メーカーが台頭してきたことにより販売競争が非常に激しくなった状況等を踏まえ、事業計画を見直した結果、当初の計画を達成することが困難となったため減損損失 412 百万円を計上することになりました。

2. 業績予想の修正について

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 80,000	百万円 350	百万円 50	百万円 △600	円 銭 △51.20
今回修正予想 (B)	77,800	△280	△440	△1,330	△113.50
減額 (B-A)	△2,200	△630	△490	△730	
増減率 (%)	△2.8	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	85,409	4,462	4,794	3,034	258.99

修正の理由

新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともない、当社連結子会社である中国の加藤（中国）工程机械有限公司（以下「加藤中国」）が、政府主導による操業規制等により工場の生産及び販売活動を停止いたしました。この影響により、中国での年間需要の大半を占める春節明けの販売が剥落したため、売上高及び利益は前回予想値を下回る見込みとなりました。なお、現時点において加藤中国は操業を再開しております。

また、国内の建設用クレーンにおいて、販売台数は増加したものの価格競争の激しい小型・中型機種が中心であり、利益率が前回予想値よりも悪化する見込みです。さらに、上記の特別損失を計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益は大幅な減益を見込んでおります。

期末配当につきましては、前回公表いたしました1株当たり配当金額(15.00円)を変更しない予定としております。

(注) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上